

EF64形電気機関車 DD51形ディーゼル機関車 ユーロライナー色

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアメーカ―をご使用の方は、マグネットカブラー(連結器)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気は機能異常が起る場合があります。

〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱い説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 **バンダイお客様相談センター**
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 **バンダイ 栃木修理・配送センター**
〒231-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

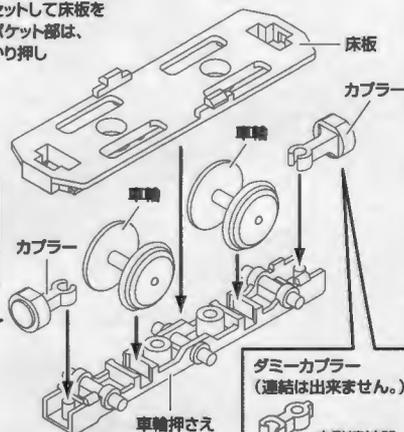
EF64形電気機関車用シャーシの組立て

1 〈シャーシの組立〉

●車軸押さえに、車軸をセットして床板を合わせます。カブラーポケット部は、パチンとなるまでしっかり押し込んでください。

●カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。構成を組むときは、向きに気をつけてください。

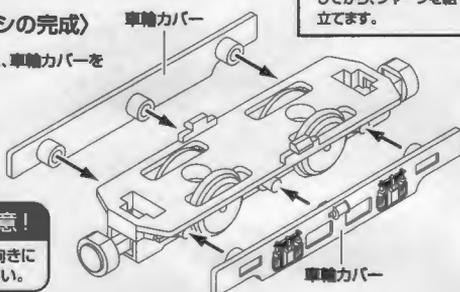
●カブラーの向き
平らな面を上



●ダミーカブラー(連結は出来ません) 自動連結器
●先に車軸押さえにセットしてから、シャーシを組み立てます。

2 〈シャーシの完成〉

●シャーシ側面に、車軸カブラーを取り付けます。



向きに注意!

●車輪カブラーの向きに注意してください。

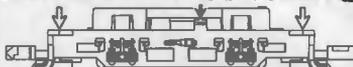
Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

●トレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット①(機関車用)」を使用します。



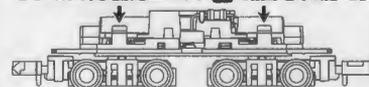
通常色(黒)と、グレーがあります。
●床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
●スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

●EF200、EF210、DD53などでは、車体裏に穴があいたカブラーの設置が充分にできません。重連運転や、種小カブ、Sカブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

●「トレインショーティ専用・動力ユニット②(電車・気動車用)」もしくは「同 動力ユニット④(路面電車用)」を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

※イラストは「動力ユニット②(電車・気動車用)」です。「動力ユニット④(路面電車用)」には前後のカブラーはありません。
●床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「トレインショーティ専用・走行台車①」を使用します。

●台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
●台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
●旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車軸止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

●台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
●スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
●新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

●SHGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカブラー取り付けのピンなしを使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
●先頭車とスカートとダミーカブラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカブラー部分を切り取ってください。



●Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
●線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
●Nゲージにおける使用方法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
●走行条件によって、牽引できる車両の数は異なります。
●動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) ●EF64、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
●11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラスチック片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①:コイルバネ台車タイプ 通勤電車①コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
品番11-106 急行電車①:空気バネ台車タイプ 急行電車①空気バネ台車タイプ DT32タイプ 485系など
品番11-107 通勤電車②:ボルクスタレス台車タイプ 通勤電車②ボルクスタレス台車タイプ DT11タイプ E231系など

品番11-104 ティビ客車用動力ユニット
●「ティビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車種によっては、床板の一部を取り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①:コイルバネ台車タイプ
品番11-098 急行電車①:空気バネ台車タイプ
品番11-097 通勤電車②:ボルクスタレス台車タイプ
このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

●お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
KATO:11-401 PS14:直造パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直造パンタグラフ
KATO:11-403 PS22:直造・下降変形パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直造パンタグラフ
KATO:11-404、11-420 PS16:直造パンタグラフ クリーンマックス:80-5:PT43:直造パンタグラフ
●11-420は、重量穴が4個の重連に対応します。 クロスポイント:PT71C:シングルアーム・パンタグラフ

このほか、取り付けピンが2本方式の、各社パンタグラフを取り付けることができます。

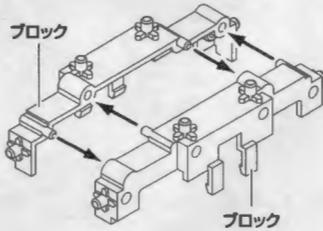
●各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが難しい(無い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
●動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

DD51形ディーゼル機関車用車体の組立て

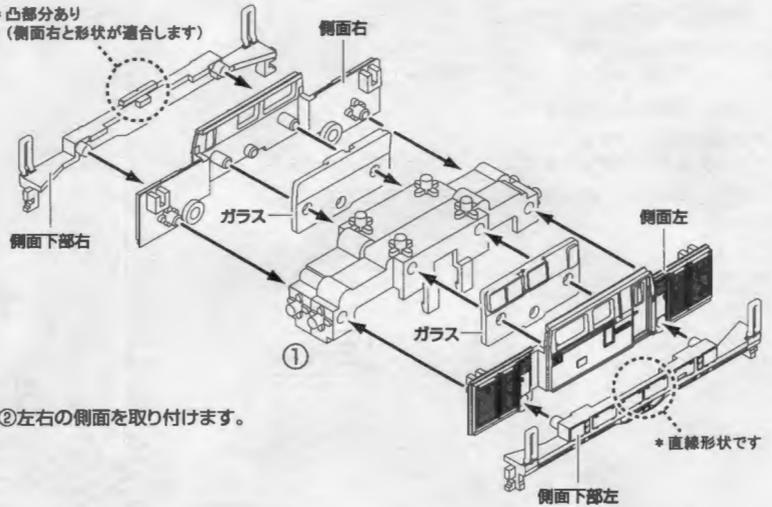
*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

①左右のブロックパーツを合わせます。



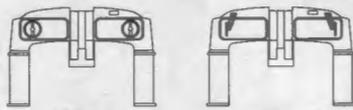
*凸部分あり
(側面右と形状が適合します)



②左右の側面を取り付けます。

③前面窓とボンネット上部を組み合わせます。

*前・後、2組を組み立てます。



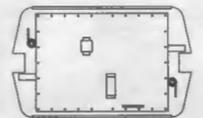
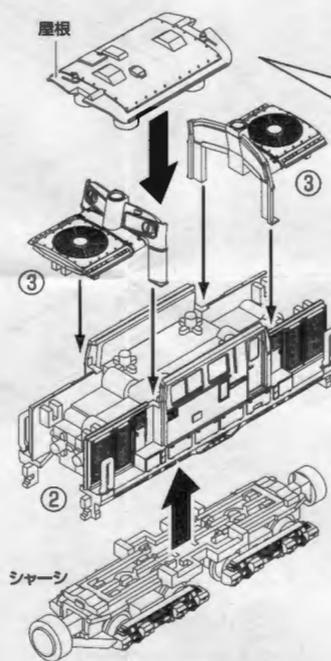
A寒地
(旋回窓)

791号機

B寒地一般
(通常ワイパー)

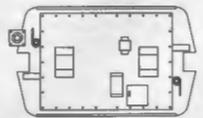
1037号機

④先に前面窓を取り付けてから、屋根とシャーシを取り付けます。



重連形・前期 (扇風機なし)

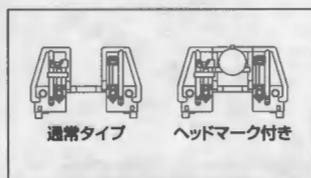
791号機



重連形・後期
無線アンテナ装備

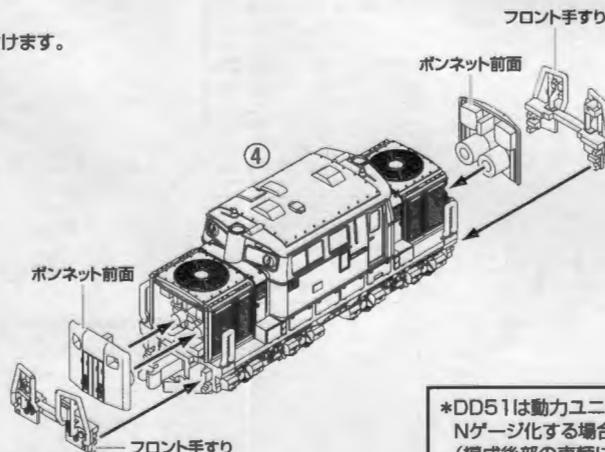
1037号機

⑥ボンネット前面とフロント手すりを取り付けます。



通常タイプ

ヘッドマーク付き



*DD51は動力ユニットには対応していません。
Nゲージ化する場合は、走行台車Tを使用してください。
(編成後部の車輛に動力ユニットを入れてください。)

ステッカーの貼付け位置

*貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。
商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

EF64 *反対側前面と側面も同様に車体番号ステッカーを貼ります。



DD51 *反対側前面と側面も同様に車体番号ステッカーを貼ります。



EF64形電気機関車用車体の組立て

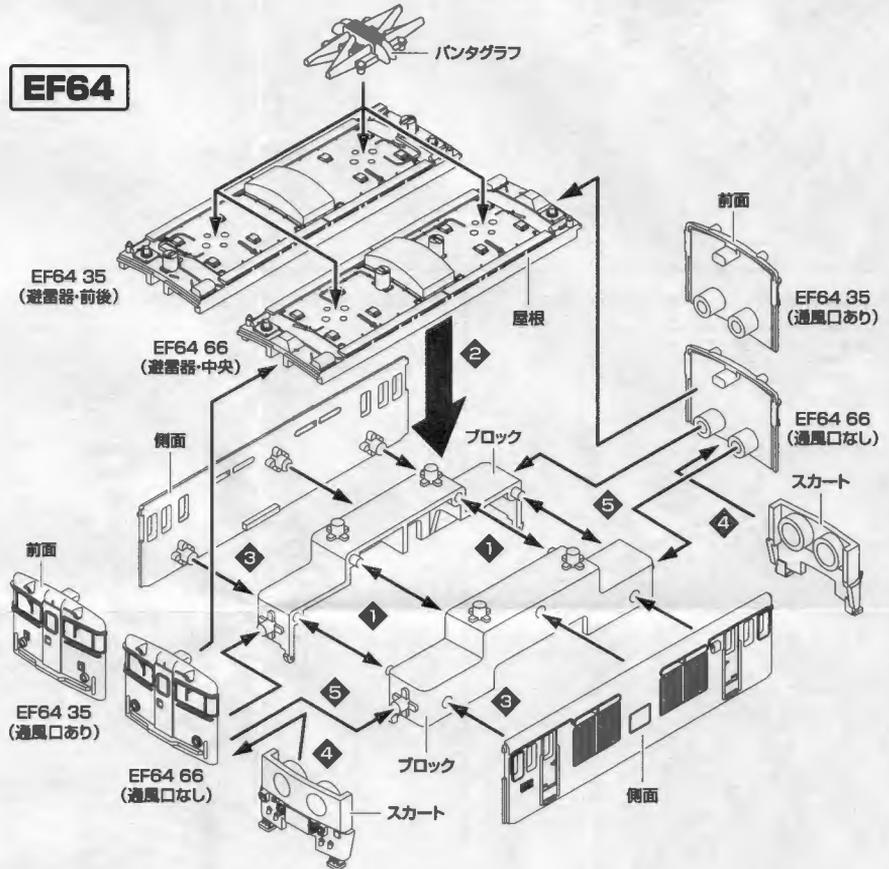
- ①左右のブロックを合わせます。
- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③左右の側面を取り付けます。
- ④前面を取り付けます。
(スカート付きの車両は、先にスクートを前面に取り付けます。)
- ⑤シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なります。また、生産の都合上余剰パーツが含まれている場合がありますので、予めご了承ください。

*EF64では、車体裾が他の機関車よりも低い形状になっているため、KATO製のNゲージ化用・動力ユニット(KATOチビ凸用)を装着することができません。

EF64



EF64・前面の形状について



EF64 35
前面・通風口あり
屋根・避雷器前後



EF64 66
前面・通風口なし
屋根・避雷器中央

○ *ヘッドマーク台座の装着は、両面テープや接着剤などを使って、車体正面に固定してください。



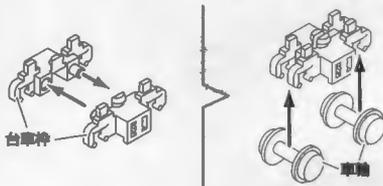
*ヘッドマーク、車体番号のシールは、台紙から切り抜いて貼ってください。(別物のお取り扱いにはご注意ください。)

DD51形ディーゼル機関車用シャーシの組立て

1 <台車の組立>

*台車枠と台車枠を合わせて、車輪を取り付けます。

*前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



2 <シャーシの完成>

*出来上がった台車の5箇所(ツメ)を床板に通します。

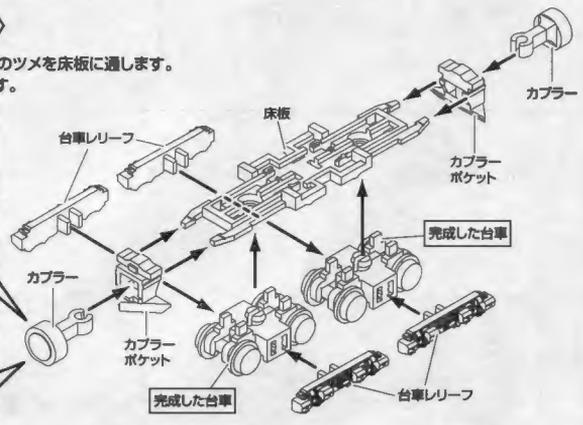
*台車レリーフを取り付けます。

*カプラーのマグネットには極性(S・N)があります。圖成を組むときは、向きに気をつけてください。



ダミーカプラー
(先頭車前面などに使用します。
連結はできません。)

自動連結器
(客車・気動車ほか)



台車レリーフの向きに注意。



車体番号

EF64 35

EF64 35

EF64 35

EF64 35

EF64 66

EF64 66

EF64 66

EF64 66

DD51 791

DD51 791

DD51 791

DD51 791

DD51 1037

ヘッドマーク

